

星なかま☆ひめじ

西郷星

下の星図は1877年9月3日午前0時の夜空です。火星がほぼ南中していますが、この日火星は大接近で、地球からの距離5630万km、光度-2.5等となっていました。当時の人びとはこの赤い星が火星であることを知らず、「急に現れた異様に明るい赤い星の中に、陸軍大将の正装をした西郷隆盛の姿が見えた」という噂が流れ、西郷星と呼ばれて大騒ぎになりました。やがて、これに便乗し、西郷星を描いた錦絵が売り出されて人気を博したそうです。(ウィキペディアより)

さて、ウィキペディアでは西郷星を「さいごうぼし」と表記しています。NHKの大河ドラマは「西郷どん」は「せごどん」ですね。NHKは鹿児島での呼ばれ方を採用されたようですが、そうすると「西郷星」も「せごぼし」と呼んだ方が良いかもしれませんね。

火星のそばで輝く星は土星です。西郷隆盛に寄り添う星として桐野星と呼ばれていました。桐野は桐野利秋(幼名中村半次郎)。「西郷どん」では第3話で登場しました。大人になってからの配役が気になるところです。



会報誌 第302号

2018年3月17日発行